

第9回サイエンスコミュニケーター養成副専攻講演会
同志社大学・総合地球環境学研究所共催シンポジウム

「サイエンスの伝え方」

開催主旨

同志社大学（生命医科学部、経済学部、社会学部、文学部、法学部）では、学部横断型教育プログラムとしてサイエンスコミュニケーター養成副専攻を設置しています。総合地球環境学研究所は地球環境問題を総合的に研究しており、研究成果の情報発信にも力を入れています。両組織が協働し、サイエンスコミュニケーションの新たな地平を展望します。文部科学省「実社会課題に対応するコミュニケーションの推進事業」に選定された取組みの成果を併せて紹介します。

日時： **2021年12月18日(土)**
14:00～16:30 (開場 13:30)

オンラインでの
視聴も可

会場：同志社大学今出川キャンパス 良心館（地下鉄今出川駅1番出入口上）2階 206教室

プログラム

- 基調講演 14:00～15:00
「科学報道の現場から」
高橋 真理子（ジャーナリスト、元朝日新聞科学コーディネーター）
「研究広報のかんどころ～触媒あるいは受容体としての広報職～」
岡田 小枝子（総合地球環境学研究所 広報室准教授）
- 成果紹介 15:00～15:30
文部科学省「実社会課題に対応するコミュニケーションの推進事業」成果
「地方独立行政法人 京都市産業技術研究所研究紹介ビデオ」の紹介
サイエンスコミュニケーター養成副専攻 2020年度「未知型探索パッケージ」履修生
- パネル討論 15:40～16:30
パネリスト 高橋 真理子、岡田 小枝子
野口 範子（同志社大学生命医科学部 教授）
近藤 康久（総合地球環境学研究所 准教授）
司会進行 渡辺 政隆（同志社大学生命医科学部 特別客員教授）
後援 日本サイエンスコミュニケーション協会、科学技術広報研究会

申し込み

- 会場定員：80名 先着順 ● 申し込みメ切：12/5（日）
- 右記QRコード、又は大学HPのTOPページ「Events」からお申し込みください。
お問い合わせ先：同志社大学 生命医科学部・生命医科学研究科 事務室
Tel 0774-65-6020（平日 9時～17時）



登壇者プロフィール

■ 高橋 真理子

ジャーナリスト、元朝日新聞科学コーディネーター。東京大学理学部物理学学科卒。1979年朝日新聞社入社。東京本社科学部、出版局科学朝日編集部などを経て、大阪本社科学次長、論説委員、東京本社科学エディター(部長)、編集委員、科学コーディネーターを務める。2021年9月退社。

■ 岡田 小枝子

総合地球環境学研究所広報室准教授。筑波大学卒。民間企業の研究所を退職後、グローバルなコミュニケーション能力を活かし、東京大学理学部、理化学研究所、高エネルギー加速器研究機構、情報・システム研究機構の各広報担当部署を経て、2020年より現職。2007年に科学技術広報研究会を立ち上げ、初代会長を務めた。

■ 野口 範子

同志社大学生命医科学部教授。筑波大学大学院医学系研究科博士課程修了。東京大学先端科学技術研究センター特任教授、同志社大学工学部教授等を経て、2008年より現職。専門は生化学で、酸化ストレスと遺伝子発現制御による適応反応機構を研究。2016年、学部生を対象としたサイエンスコミュニケーター養成副専攻プログラムを立ち上げた。

■ 近藤 康久

総合地球環境学研究所研究基盤国際センター准教授。東京大学大学院人文社会系研究科博士課程修了。東京大学総合研究博物館特任研究員、日本学術振興会特別研究員を経て、2014年より現職。専門は考古学、地理情報学、オープンサイエンス論。日本学術会議連携会員を兼務。

■ 渡辺 政隆

同志社大学生命医科学部特別客員教授。東京大学大学院農学系研究科修了。サイエンスライター、文部科学省科学技術・学術政策研究所、科学技術振興機構、筑波大学広報室教授等を経て、2021年より現職。専門はサイエンスコミュニケーション、進化生物学、科学史。日本サイエンスコミュニケーション協会会長、東北大学広報室特任教授を兼任。